

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和2年7月1日  
観測部  
地球環境・海洋部

## 6月の天候

2020年（令和2年）6月の日本の天候は、全国的に気温がかなり高くなりました。降水量は、沖縄・奄美でかなり多くなりました。日照時間は、東日本日本海側でかなり多くなりました。

2020年（令和2年）6月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は、全国的にかなり高くなりました

日本付近には暖かい空気が入りやすく、晴れて強い日射の影響を受ける日もあったため、月平均気温は全国的にかなり高くなりました。東日本では、1946年の統計開始以来6月として1位の高温となり、西日本では2005年と並び最も高温となりました。

○降水量は、沖縄・奄美でかなり多くなりました

日本の南海上の高気圧の縁を回って湿った空気が入りやすく、梅雨前線の活動が活発となった時期があったため、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側、西日本で多くなりました。

○日照時間は、東日本日本海側でかなり多くなりました

高気圧に覆われやすい時期があったため、東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側、沖縄・奄美で多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:570KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202006\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202006_besshi.pdf)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-3212-8341（内線 4156） FAX 03-3217-3615  
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 中三川（天候の解説について）  
電話 03-3212-8341（内線 3166） FAX 03-3211-8406